

露地・雨よけ

サクランボ特報 No.3

平成 27 年 5 月 1 日
JA 中野市営農センター
JA 中野市サクランボ部会

佐藤錦の開花は 4 月 19 日と平年より 5 日ほど早い生育となっております。開花後は高温と乾燥が続いています。灌水等の管理作業を適宜実施しましょう。

薬剤散布

隣接する園地や他作物にかからないようにする。

* 散布時期 落花後（5月上旬）

* 散布薬剤（水 100ℓ 当り）

展着剤	20ml	
サムコルフロアブル 10	40ml	（前日、3回）
ナリア WDG	50g	（前日、3回）

・散布日	月	日
・散布量	ℓ	

* 散布量 : 10a 当り 400ℓ 動噴 500ℓ

* 対象病害虫：ケムシ類、ハマキムシ類

灰星病・炭そ病・幼果菌核病・黒斑病・褐色せん孔病

* 注意事項 : ◎訪花昆虫保護のため、殺虫剤の使用は十分注意する。

○訪花昆虫引き上げ後—ケムシ類・ハマキムシ類が発生する場合、バイスロイド EW 4000 倍（収穫 7 日前、2 回）を散布する。

*ナリア WDG は、ぶどう、ピオーネ、西洋ナシ、ル・レクチェ等に薬害が生じる恐れがあるので、他作物同様、飛散しないようにする。

◎コスカシバの発生園は、4 月下旬～5 月上旬にスカシバコンを 10a 当り 100 本設置する。

◎カメムシ類が発生する場合は、アルバリン顆粒水溶剤 2000 倍（前日、2 回）を散布する。

◎今後の管理 * 遅霜の対策は万全に。

- (1) 園内の除草、特に地際部はきれいにやり害虫の巣にならないようにする。
- (2) 風対策—支柱立て等行っていない場合は、実施して下さい。
- (3) 枝の誘引—側枝形成をはかりバランスの良い樹形に仕立てる。

○除草剤の散布

（放花昆虫保護のため 5 月中旬頃まで見合わせる、放花昆虫回収後）

- ・使用剤 ・バスタ液剤・ザクサ液剤（収穫前日、3 回）
- ・使用方法 水 100～150ℓ に 500～750ml を使用する。

※薬剤散布は、他園地に掛からないよう散布する。